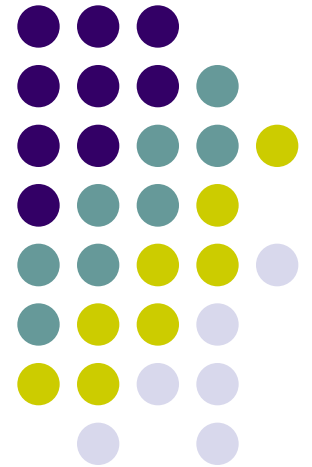


九州の旅 いろいろ

福岡県・大分県・佐賀県・長崎県
熊本県・宮崎県・鹿児島



福岡県

太宰府天満宮



901年(昌泰4)、京都から大宰府に左遷され、この地で亡くなった菅原道真を祭る神社で、全国の天満宮の総本社。

柳川川下り

福岡県柳川市は水郷の街。
船頭さんが櫓を漕ぐ「どんこ舟」に揺られて、
柳の枝垂れる掘割を行きます。



大分県

一目八景



別府／鉄輪／明礬／観海寺／亀川／柴石／堀田／浜脇の各温泉郷から構成される別府八湯は、約2,850箇所(日本全国の約1割)の源泉数の豊富さと、世界中に存在する11種のうち、10種の泉種を有するバラエティさで、文字通り日本一いや世界一の湯の理想郷です。

- 春は若葉もみじ、秋は錦もみじで美しい景色に包まれた溪谷の中程にあり、展望台より夫婦岩、烏帽子岩仙人岩等周囲の景勝八景が一目で望める。



別府八湯



佐賀県



吉野ヶ里遺跡は、佐賀県神埼郡神埼町、三田川町及び東脊振村にまたがる遺跡で、全国一の規模を持つ弥生時代の環壕集落跡であり、墳丘墓、物見櫓跡、大規模な甕棺墓列等が発見されています。



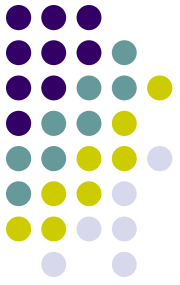
吉野ヶ里遺跡



有田焼

文禄・慶長の役の役のおり韓国から連れてこられた陶工李参平公が1616年泉山で良質な白磁鉱を発見し、日本で初めて磁器を焼くことに成功しました。

長崎県



平和祈念像



北村西望[きたむらせいほう]作の平和祈念像[へいわきねんぞう]が中央に位置する公園。像の高く掲げた手は原爆の脅威を、横に広げた手は平和を象徴、閉じた目は戦没者の冥福を祈っている。

オランダ坂



かつては外国人居留地にある坂道はすべて「オランダ坂」とよんでいた。現在では、活水[かっすい]女子大右横から東山手洋風住宅群を結ぶ坂道が特に有名である。レンガ塀沿いの石畳は、雨に濡れると長崎らしい風情がある。



熊本県



現在のカルデラ形成直後から中央火口丘群の活動は始まったと考えられている。この中央火口丘群のマグマは玄武岩から流紋岩まで広い組成範囲にわたり、それぞれの火山の形態や構造も複雑である。



阿蘇山

日本有数の名城といわれ、国の特別史跡に指定されている。加藤清正が1601年(慶長6)から7年の歳月をかけて築城、城郭は広さ約98万平方m、周囲5.3kmにも及ぶ。



熊本城

宮崎県



高千穂峡

阿蘇山の火山活動で噴出した溶岩を、五ヶ瀬川が侵食して作った渓谷。高さ100mもの断崖が7kmに渡って続いている。一番のみどころは、御橋のすぐ上流にある日本の滝百選の一つ・真名井の滝[まないのたき]周辺。17mの高さの岩肌を、清流が滝に勢いよく落ちる様子は壮観だ。



鵜戸神社

鵜戸神宮は、神武天皇の父親が生まれた地とされていて、安産や縁結びの神様として知られています。ここでは、素焼きの玉を亀の形をした岩に投げ、それが甲羅の窪みの部分に入ると願いが叶うといわれています。また、参道には日本で唯一の石灯籠型の「うどさき灯台」があります。



鹿児島県



桜島は始良カルデラ(南北17km, 東西23km)の南縁部に生じた安山岩～デイサイト(SiO_2 57~67%)の成層火山で, 北岳(標高 1,117m)・中岳(標高 1,065m)・南岳(標高 1,060m)の3峰と権現山・鍋山・引ノ平などの寄生火山からなり, 人口が密集する鹿児島市の市街地に近接している。

桜島

古来からの天然の湯治場で、新幹線から離れて畑の中をドライブしていくので穴場感がある。開聞岳や大隅半島、錦江湾、東シナ海が一望できる景勝地にあり、大自然の中で心も身体もリフレッシュ。温かい砂で包み込まれた全身から汗が噴き出し、爽快な気分になれる。美容効果があるので女性に人気がある。



指宿温泉